

# 森と都市の対話

## j.Pod建築システムが目指すもの

自然とともに生きる賢人は、森と都市の存在を一体的にとらえ、行政や学問がもつ垣根を越えて自然の機能を取り戻し、世論を動かし始めています。日本の国土に根ざした“森と都市”の連環機能を解明し、つながりやめぐりの価値観を“対話”を通じて取り戻す新しい総合学問領域の創生と発展を願います。

木造建築には耐震性・耐火性などの構造的な弱点とコストの問題があるとされています。しかし、今これらの問題を解決する木造新構法「j.Pod建築システム」が生まれました。当システムの優れた点は、従来の木造住宅より大幅なコストダウンを実現し、これまで放置されてきた我が国の人工林に光を当て、地域産業が復活される潜在性を有していることです。

このシンポジウムは、「j.Pod建築システム」をキーワードに、森の再生と都市の再生の一元的な実現を展望し、人と自然が共存する縄文時代以来の日本の文化である“木の文化”の再生について考えるものです。

**日時** 2006年3月24日(金) 13:30 ~ 16:30

**会場** 兵庫県公館 大会議室

**参加費** 無料

**定員** 200名(受付は先着順とし、定員になった時点で締め切ります。)

**主催** 兵庫県 京都大学

**後援** 兵庫県住宅供給公社  
(社)兵庫県建設業協会  
(社)兵庫県建築士事務所協会 S  
兵庫県木材業協同組合連合会  
兵庫県地域住宅政策協議会

**連絡先** FAX : 078-362-9458  
TEL : 078-341-7711 (内線 : 4641, 4728)

**担当** 兵庫県県土整備部住宅復興局住宅計画課企画調整係



プログラム

▶ 開会あいさつ

▶ 講演Ⅰ 森里海連環学と“森と都市の対話”

竹内 典之(京都大学フィールド科学教育研究センター副センター長)

▶ 講演Ⅱ j.Pod 建築システムが目指すもの

小林 正美(京都大学地球環境学堂地球親和技術学廊教授)

▶ パネルディスカッション

小森 星児(ひょうごボランティアプラザ所長)

竹内 典之(京都大学フィールド科学教育研究センター副センター長)

小林 正美(京都大学地球環境学堂地球親和技術学廊教授)

白谷 敏明(兵庫県市長)

山形 健介(日本経済新聞社大阪本社 編集委員)

有村 桂子(建築家)

三渡 啓介(協同組合しそ森の木 代表)



j.Pod フレーム

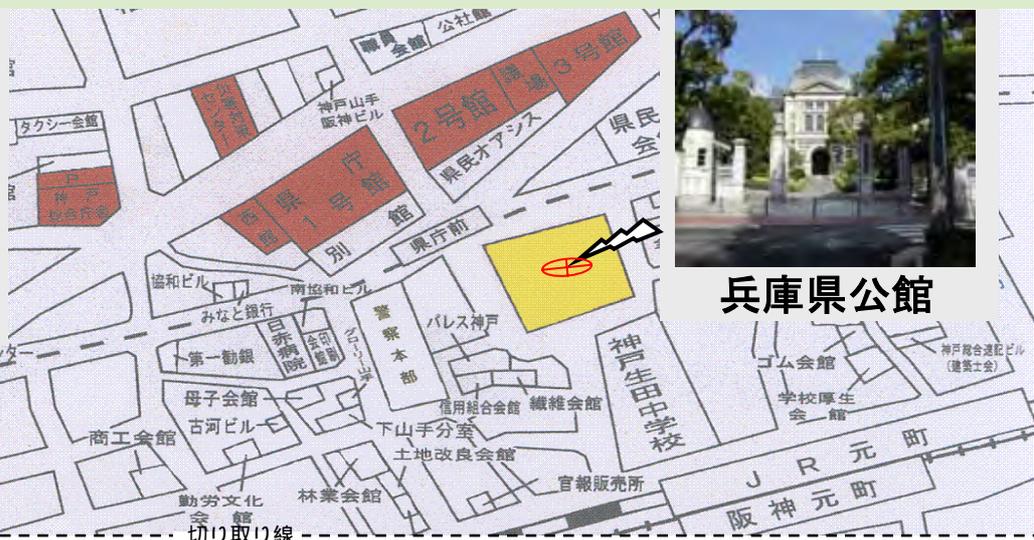
### 兵庫県公館周辺図

所在地： 神戸市中央区  
下山手通4丁目4番1号

交通：

▶ 市営地下鉄「県庁前駅」  
からすぐ

▶ JR「元町駅」西口  
から北へ徒歩5分



兵庫県公館

## 木造住宅振興シンポジウム 参加申込書

氏名 ①	
氏名 ②	
氏名 ③	
所属	
所在地	
連絡先	TEL :
	FAX :
あて先	兵庫県 県土整備部 住宅復興局 住宅計画課 企画調整係 あて <b>FAX:078-362-9458</b>
締め切り	3月22日(水)(先着定員200名になった時点で締め切ります。)